

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2004-152003 (P2004-152003A)
 【公開日】平成 16 年 5 月 27 日 (2004.5.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-020
 【出願番号】特願 2002-316400 (P2002-316400)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 3/12

B 4 1 J 3/60

B 4 1 J 21/00

G 0 3 G 15/00

【F I】

G 0 6 F 3/12 P

G 0 6 F 3/12 F

B 4 1 J 21/00 Z

G 0 3 G 15/00 5 1 6

B 4 1 J 3/00 S

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 8 日 (2005.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】タブ紙両面印刷方法、タブ紙両面印刷プログラム、プログラムを格納したコンピュータ読取り可能な記憶媒体及び印刷制御装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タブ紙印刷の設定がされているかを判定するための印刷設定判定工程と、
 前記タブ紙印刷の設定がされていると判定された場合に、印刷しようとする面が表面か裏面かを判定するための印刷面判定工程と、
 前記印刷しようとする面が前記表面であると判定された場合には第 1 の描画データを生成し、前記裏面であると判定された場合には前記第 1 の描画データを調整することにより第 2 の描画データを生成する描画データ生成工程と
 を備えるタブ紙両面印刷方法。

【請求項 2】

前記描画データ生成工程では、前記第 1 の描画データ及び第 2 の描画データを同一の入力データから生成することを特徴とする請求項 1 に記載のタブ紙両面印刷方法。

【請求項 3】

前記描画データ生成工程では、前記第 1 の描画データの座標値を調整することにより前記第 2 の描画データを生成することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載のタブ紙両面印刷方法。

【請求項 4】

前記描画データ生成工程では、前記第 1 の描画データの座標値を前記タブ紙の物理サイズに基づいて決定することを特徴とする請求項 3 に記載のタブ紙両面印刷方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載のタブ紙両面印刷方法をコンピュータに実行させるためのタブ紙両面印刷プログラム。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のタブ紙両面印刷プログラムを格納したコンピュータで読取り可能な記憶媒体。

【請求項 7】

タブ紙印刷の設定がされているかを判定するための印刷設定判定手段と、

前記タブ紙印刷の設定がされていると判定された場合に、印刷しようとする面が表面か裏面かを判定するための印刷面判定手段と、

前記印刷しようとする面が前記表面であると判定された場合には第 1 の描画データを生成し、前記裏面であると判定された場合には前記第 1 の描画データを調整して第 2 の描画データを生成する描画データ生成手段と
を備える印刷制御装置。

【請求項 8】

前記描画データ生成手段は、前記第 1 の描画データ及び第 2 の描画データを同一の入力データから生成することを特徴とする請求項 7 に記載の印刷制御装置。

【請求項 9】

前記描画データ生成手段は、前記第 1 の描画データの座標値を調整することにより前記第 2 の描画データを生成することを特徴とする請求項 7 又は請求項 8 に記載の印刷制御装置。

【請求項 10】

前記描画データ生成手段は、前記第 1 の描画データの座標値を前記タブ紙の物理サイズに基づいて決定することを特徴とする請求項 9 に記載の印刷制御装置。

【請求項 11】

タブ紙印刷の設定がされているかを判定するための印刷設定判定工程と、

前記タブ紙印刷の設定がされていると判定された場合に、印刷しようとする面が表面か裏面かを判定するための印刷面判定工程と、

前記印刷しようとする面が前記表面であると判定された場合には第 1 の位置に描画データを印刷し、前記裏面であると判定された場合には前記第 1 の位置とは異なる第 2 の位置に前記描画データを印刷する印刷工程と
を備えるタブ紙両面印刷方法。

【請求項 12】

前記印刷工程では、前記第 1 の位置に印刷される描画データと第 2 の位置に印刷される描画データは、同一の入力データから生成する請求項 11 に記載のタブ紙両面印刷方法。

【請求項 13】

前記印刷工程では、前記描画データの印刷位置を前記タブ紙の物理サイズに基づいて決定する請求項 11 または 12 に記載のタブ紙両面印刷方法。

【請求項 14】

請求項 11 乃至 13 のいずれかに記載のタブ紙両面印刷方法をコンピュータに実行させるためのタブ紙両面印刷プログラム。

【請求項 15】

請求項 14 に記載のタブ紙両面印刷プログラムを格納したコンピュータで読取り可能な記憶媒体。

【請求項 16】

タブ紙印刷の設定がされているかを判定するための印刷設定判定部と、

前記タブ紙印刷の設定がされていると判定された場合に、印刷しようとする面が表面か

裏面かを判定するための印刷面判定部と、

前記印刷しようとする面が前記表面であると判定された場合には第１の位置に描画データを印刷し、前記裏面であると判定された場合には前記第１の位置とは異なる第２の位置に前記描画データを印刷する印刷制御部とを備える印刷制御装置。

【請求項１７】

前記印刷制御部は、前記第１の位置に印刷される描画データと第２の位置に印刷される描画データは、同一の入力データから生成する請求項１６に記載の印刷制御装置。

【請求項１８】

前記印刷制御部は、前記描画データの印刷位置を前記タブ紙の物理サイズに基づいて決定する請求項１６または１７に記載の印刷制御装置。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

上記課題を解決するための本発明の別の側面は、印刷制御装置であって、タブ紙印刷の設定がされているかを判定するための印刷設定判定手段と、前記タブ紙印刷の設定がされていると判定された場合に、印刷しようとする面が表面か裏面かを判定するための印刷面判定手段と、前記印刷しようとする面が前記表面であると判定された場合には第１の描画データを生成し、前記裏面であると判定された場合には前記第１の描画データを調整して第２の描画データを生成する描画データ生成手段とを備える。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

上記課題を解決するための本発明の更に別の側面は、タブ紙両面印刷方法であって、タブ紙印刷の設定がされているかを判定するための印刷設定判定工程と、前記タブ紙印刷の設定がされていると判定された場合に、印刷しようとする面が表面か裏面かを判定するための印刷面判定工程と、前記印刷しようとする面が前記表面であると判定された場合には第１の位置に描画データを印刷し、前記裏面であると判定された場合には前記第１の位置とは異なる第２の位置に前記描画データを印刷する印刷工程とを備える。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

上記課題を解決するための本発明の更に別の側面は、印刷制御装置であって、タブ紙印刷の設定がされているかを判定するための印刷設定判定部と、前記タブ紙印刷の設定がされていると判定された場合に、印刷しようとする面が表面か裏面かを判定するための印刷面判定部と、前記印刷しようとする面が前記表面であると判定された場合には第１の位置に描画データを印刷し、前記裏面であると判定された場合には前記第１の位置とは異なる第２の位置に前記描画データを印刷する印刷制御部とを備える。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記の課題は、上記のタブ紙両面印刷方法をコンピュータに実行させるためのタブ紙両面印刷プログラム、さらには、このタブ紙両面印刷プログラムを格納したコンピュータで読取り可能な記憶媒体を提供することによっても解決することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】